## ップインタビュ

維など主力製品の状況は。 下年後半からスマホや半導 ステンレス鋼線や金属繊

らく時間を要するものと考えて ものの、需要回復にはもうしば んだ。在庫調整は解消に向かる ーン)は12月から急激に落ち込 が継続しており、在庫調整局面 体装置用などIT関連の需要減 精密ガスフィルター(ナスクリ となっている。半導体装置用超 高機能独立

移している が良好で、販売数量は堅調に推 年上期をピークに減少局面とな 向けの高機能独自製品は調整局 昨年下期からスマホやIT関連 ら2年間好調が継続したが、18 の国内需要は2016年下期か と合わせて月平均3456小で 線の前期の販売数量はタイ精線 面に入っている。ステンレス鋼 ルターなど金属繊維は需要環境 っている。一方、ナスロンフィ 微減となった。ステンレス鋼線 「ステンレス鋼線に関しても

国内工場の設備投資は、

補完のため枚方工場に太径伸線 を図る(20年度完工予定)。超 試作を中心に販売量は伸びてい くしている。東大阪工場の能力 リニューアルは予定通り進ちょ ュエ事の目玉である製品倉庫を ・ステンレス鋼線『ハーキュリ を目的とした東大阪・枚方工場 続的成長のための生産基盤強化 独自製品の上方弾力性確保、持 場に自動酸洗ラインを新規に立 焼鈍ラインの増設(18年度完 精密ガスフィルター(ナスクリ る。これまでの対応サイズは0 益。電磁ステンレスが月187 「NSR20で計画した高機能 の能力増強に加え、リフレッシ ち上げる。枚方工場はばね用材 新設し、場内物流の抜本的改善 IEH』は1年前に販売開始し、 工)を皮切りに今期は東大阪工

に完工しており、高機能独自製 の強化を着実に進めている」 品の次の成長に向けた生産基盤 ーン)の能力増強投資も18年度 新商品の開発と販売状況 組んでいる を開発し、耐熱ボルトのシリー ト用材もさらなる高温化対応材 ズ化につなげ、極細線ではシン グル

沿

以

の

製

造

技

術

確
立

に

取

の

は。

発に取り組んでいる。超高強度 連など幅広い分野での新製品開 「環境・医療・エネルギー関 月期は売上高45億6千万円、経 続いている。タイ精線の19年2 料はあるが、海外事業は好調が 米中貿易摩擦などの不安材

常利益3億5千万円で増収増

海外輸出のさらなる拡販 いる。今後は欧州などの を目指す。タイ精線で機 ーカーへ販売量が伸びる 」と東南アジアの日系メ

ム系ステンレス鋼線の増産のた 能力を増強する。また、太径クロ 能材料の生産能力増強を

以上も対応できるよう技術開発 ・1~0・35″」だが、2・5″」目的に、極細線とばね材の生産 り組んでいる。また従来の高機 線『新エレメタル(ELEME め建屋増築を行う。金属繊維ナ ボの締結に用いられる耐熱ボル て納入している。そのほか、耐 TAL e―Fine)』もス スロンのメタルフィルターを製 を進めている。高強度銅系合金 特性を高めた改善材の開発に取 マホ関連メーカーに試作材とし 水素脆性ばね用ステンレス鋼線 ハイブレム』もより低温化の 増設する。クロム系ステンレス 字を計上しており、販売量も増 6200万円で増収増益、2期 売上高5億8千万円、経常利益 ガスフィルターなどが好調で、 造する耐素龍精密濾機(常熟)は 連続黒字となった。安定して里

> 連)は、日系メーカーだけでな 収増益、3期連続黒字となった\_ 円、経常利益4500万円で増 鋼線を生産する大同不銹鋼(大 り込み済みだが、早期の需要回 く、現地のローカル企業への販 需要の上期の在庫調整局面は織 いる。スマホをはじめIT関連 売数量は前期比微減と想定して は減収減益を見込んでいる。 販 スクなど諸問題を考慮し、今期 減速、 ブレグジッド 、 地政学リ 売を拡大し、売上高5億7千万 目となる今期のビジョンは。 一米中貿易摩擦、中国経済の -中計『NSR20』の2年

販に取り組んでいく。 NSR20 向けやIoT関連はトレンドし につなげていく」(綾部 やるべきことをやって次の成長 に向けた生産基盤強化』を目的 で掲げた『高機能独自製品の上 品の開発、海外事業の強化・拡 代の高機能独自製品となる新製 そうだが、こういう時こそ次世 だろう。19年は辛抱の年となり 調はまだ見えてこないが、EV とした諸施策を確実に実行し、 て世界的にまだまだ伸びていく 2弾力確保・拡販と持続的成長 「半導体関連など本格的な復

## 欧州でも拡販 調、 南ア

復に期待する\_